

特定非営利活動法人静岡情報産業協会

令和 6(2024)年度事業計画(案)

I. 令和6(2024)年度事業計画

自: 令和 6(2024)年 4 月 1 日

至: 令和 7(2025)年 3 月 31 日

1. 事業計画の概要

当協会(SIIA)は平成 2(1990)年に、「情報の産業化と産業の情報化」を掲げて設立され、静岡に情報産業を醸成するとともに、地域の企業、住民あるいは行政に対して情報化に協力することを目指して事業を進めて来た。

その後我が国でも、経済産業省が 2018 年に「デジタルトランスフォーメーション(DX)を推進するためのガイドライン」を取りまとめ、DX の定義を「企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること」と、明確かつ具体的に示している。

このことを受けて SIIA では、「データ活用とデジタル技術」の面で地域の企業や行政の DX 化を応援することを視野に入れ、DXに欠かせない最先端のデジタル技術の習得を促進するとともに、習得した技術或いは知識の普及ならびに啓蒙をめざす。

また、令和 3 年度の「SIIA アクションプラン 2021 宣言」から 3 年が経過する中で、昨年度末までに理事ならびに三部会のメンバーによる実績の検証から得られた結果により、本年度は新たな「アクションプラン」を策定するとともに、協会のミッションを再確認し、部会構成の見直しと機能の強化を図り、令和 7 年度からの「会員の、会員による、会員のため」になる新たな SIIA 作りを目指す。

(1) 人材育成教育研修部会

「市場や技術の動向を踏まえ、会員のために役立つ情報と学習機会を提供し続けます。」

移り変わりが激しい ICT の世界において、常に市場や技術の動向を踏まえ会員のために役立つ情報と学習機会を提供することに主眼を置き、この部会が有する特性を活かし、新たな技術や今後の ICT 業界の方向性を示唆する講師陣を招聘してセミナー、研修会を開催し、会員にとって有用な最新情報の提供や技術者の技術力向上に役立てる。

また、地域や業界が抱える課題の解決や、地域全体の教育・研究力を高めることを目的に会員企業の技術者育成研修を継続する。この技術者育成研修事業は、毎年一般社団法人情報サービス産業協会(JISA)の地域連携事業に応募しているが、本年度も同様に補助金を得て地域ビジネス活性化に資する活動を実施する。

さらに、視察研修事業については、昨年度から国内視察研修として再開したが、本年

度も昨年度と同様、先進事例など学ぶべき地域の探索を行い、そこから時代の先端を行く事例の研究を深めて行く。

(2) ビジネス・マッチング部会

「会員相互及び産・学・官との交流を活性化し、ビジネスの機会創出をめざします。」

これまで3年間、会員相互及び地域との交流を深め新たなビジネスの機会創生を図る機会を増やすことを目的に、会員企業が保有する自社の得意技術やサービスなどを発表し、そこから相互交流を発生させる仕組みを継続的に行った結果、会員にも相応の評価を得ている。

この事業は、会員交流会を通じて、会員同士の知り合う機会を深め、そこから新たなビジネスチャンスが創出することを狙いとしており、過去3年継続してきた会員企業相互の「会員交流会」を更に会員間に浸透させることを目的に、会員企業の若手社員を対象として「次世代リーダー交流会」を開催する。

また、従来通り各社の特長や特性を訴求することを目的にSIIAのウェブサイト上に各社のコンテンツを逐次更新して、更なる会員交流機会の増大を設けていく。

更に、会員企業がこれまで培ってきた技術やノウハウを互いに共有し、協会から外部に目を向け、自治体や小規模事業者が抱える課題解決策について具体的な提案できるように、部会横断による体制ならびに機会づくりを強化していく。

(3) 人材開拓推進部会

「産・学・官の連携を深め、学生へICTの魅力を訴求し、次の担い手の発掘をめざします。」

ICT業界においても慢性的な人材不足の問題を抱え、その解決のための事業を中心に活動している「人材開拓推進部会」では、本年度も継続して同様のテーマにより地元のICT企業の人材確保をテーマに活動する。

また、当協会の特色の一つでもある、地元の大学、専門学校などとの教育機関と連携は近年になって更に強まっており、これまで積み上げてきた各種事業のノウハウを活かし、本年度も継続して大学生の中でも特に文系の学生を対象に、ICT企業の魅力と仕事のやりがいを知る機会を提供する企画を展開する。

具体的な方策として、令和3年度から実施している「ITパスポート取得講座」は、地元の文系大学生向けに開講してきたが、本年度は、更に広く多くの大学生にITに関する知識と情報を与える機会を会員企業の技術者あるいは経営者などを講師とした「ICT講座」の開催を目指す。

(4) 部会連携プロジェクト

昨年度、「アクションプラン 2021」の検証を行うために立ち上げた、理事ならびに三部会全員参加のプロジェクトによる「ワークセッション」を実施して、その結果本年度以降のアクションプランを策定した。

この新たなアクションプランにより、本年度はその実効性を高めるために、3つの部会を横断した「部会連携プロジェクト」により、アクションプランをベースにした議論を活発にして、協会の外部に向けた提言活動を含む発信力及び行動力の向上を目指す。

2. 事業の骨子

以上を踏まえ、当協会本年度事業を次のように計画する。

(1)人材育成・教育研修部会の事業

- ① 通常総会開催時に講師を招き講演会を開催
 - ・実施時期: 令和6年5月
 - ・開催場所: 静岡商工会議所会議室
 - ・経費予算: 20万円

- ② 国内でのワーケーション体験や視察ツアーを実施して業界の最先端情報を収集
 - ・実施時期: 令和6年6月～令和7年2月
 - ・開催場所: 未定
 - ・実施内容: 国内の IT 関連施設などを視察し、新たな働き方を知り、考える機会を作る
 - ・収入予算: 25万円
 - ・経費予算: 40万円

- ③ 地域 ICT 企業の地力向上のための技術研修事業を、静岡大学の協力を受けて実施
 - ・実施時期: 令和6年8月～9月
 - ・予定人数: 20人
 - ・開催場所: 静岡大学
 - ・収入予算: 60万円
 - ・経費予算: 110万円

- ④ これからの IT 技術者に必要なスキルをピックアップし、ICT 最新技術向けのビジネス講座を実施
 - ・実施時期: 令和6年9月～令和7年2月
 - ・開催場所: 静岡市内(未定)
 - ・収入予算: 10万円
 - ・経費予算: 20万円

- ⑤ 会員のニーズに応じたセミナーを実施

- ・実施時期: 令和6年10月～令和7年2月
- ・開催場所: 静岡市内(未定)
- ・経費予算: 10万円

⑥ 高校生向けに ICT 講座を開催

- ・開催時期: 令和6年8月～12月
- ・開催場所: 未定
- ・経費予算: 10万円

⑦ 社会人向けに「IT パスポート取得講座」を開催

- ・開催時期: 令和6年4月～令和7年3月
- ・開催方法: オンライン(オンデマンド)講習

(2) ビジネス・マッチング部会の事業

① 会員企業の自社の得意技などの発表機会を活用した交流会及び会員企業同士の交流を深める事を目的とした会員交流会を開催

- ・開催時期: 令和6年4月～令和7年2月の間で4回
- ・開催場所: 静岡商工会議所会議室
- ・経費予算: 20万円

② 会員企業紹介コンテンツのメンテナンスおよびウェブサイト上への掲載情報の更新

- ・SIIA ウェブサイトに掲載されている各社のコンテンツの随時更新し広報する
- ・会員企業紹介コンテンツを会員交流会に活用
- ・開催期間: 令和6年4月～令和7年3月
- ・経費予算: 10万円

③ 自治体及び小規模事業者向け DX による業務変革課題に対する提案

- ・地域の ICT 化に寄与するため、ICT に関する専任者がいない組織や小規模事業者が抱える課題をヒアリングして具体的な解決策を提案或いは ICT 企業とのマッチングを図る
- ・実施時期: 令和6年7月～令和7年2月(適宜開催)
- ・経費予算: 15万円

(3) 人材開拓推進部会の事業

① 学生向け ICT 講座

- ・大学生、特に文系学生向けに、IT、業界の魅力を感じてもらい、且つ、資格取得を支援する講座を、年間を通して開催

・経費予算:65万円

②「未来志向の学生向けセミナー」の企画・立案、実施

・静岡大学、静岡県立大学、常葉大学、静岡英和学院大学等 SIA 会員大学での開催を計画

・経費予算:40万円

③ IT 系会員企業の採用担当者と県外の IT サービス産業協会等との意見交換会

・会員企業の採用担当者と、県外の IT サービス産業協会等との交流を図る事により採用担当者への知見を広げてもらい、協会の参加のメリットを感じてもらう

・参加企業:10 社(20 名)

・経費予算:10万円

(4)調査研究・交流促進および部会連携プロジェクト事業

① 総会時会員交流会を実施

・開催時期:令和6年5月28日(総会・講演終了後)

・開催場所:静岡商工会議所

・参加人数:50人

・経費予算:10万円

② 理事交流会を実施

・収入予算:7万円

・支出予算:10万円

③ 総会・理事会・運営委員会・プロジェクト等の会議開催

・経費予算:25万円

④ 部会連携プロジェクト会議を適宜開催し、今後の SIA の新たな可能性を見出す。

・経費予算:10万円

(5)地域連携事業

① 業会団体および地域の団体・機関並びに自治体の実施する事業に協力

i. 協会員への情報提供のため(一社)情報サービス産業協会(JISA)の入会継続

・経費予算:25万円

ii. JISA「地域連携事業」プログラムに参加

・収入予算:30万円

iii. 県及び静岡市が開催する「DX」・「オープンデータハッカソン」等の事業に協力

- iv. 静岡商工会議所「情報文化部会」に参加協力
- vi. 「地域企業デジタル化推進特別委員会」に参加協力

② 西部／東部ベンダー団体と情報連携する。

(6) 広報事業

- ① 会員に対する情報提供(Web 広報、パンフレット等作製、HP・サーバー管理等)
・経費予算:55万円